

御所湖 随想

H24年3月 No.37

探鳥会

雪解けとともに‘バッケ(フキノトウ)’が顔を出したのですが、3月24日の公園の様子は一面の雪景色に戻ってしまいました。園内の積雪も20~30cm程度あり、4月1日には平成24年度の開園となるのですが、ちょっと不安です。管理事務所の屋根から落ちた雪もうず高くなっています。芝生広場で遊ぶにはもう少し時間が必要ですね！



さて、3月18日の午前中に滝沢森林公園との共催で御所湖の探鳥会を行いました。湖面も依然として氷におおわれていましたが、この日だけは天候に恵まれました。今回は安庭橋からの観察です。頭が白い毛で被われているカワウに驚いたり、愛称パンダガモのミコアイサの姿に見とれたり。そのうち遠くの氷上の浮き球(漕艇用)に一塊の黒い物体があるのき気づきました。最初はゴミかなと思ったのですが、スコープで見ていると何やら時々動いているようです。あれは2羽のワシらしいとなりしばらく観察していると、それは飛び立ちました。白い尾羽が...。オジロワシです。今回の目玉!!今日の参加者はラッキーだねと話していると、トビが頭上を旋回してきました。上昇気流に乗ってとても気持ちよさそうです。その中になんか違う鳥がいます。オジロワシでした。再度我々にその雄姿を見せてくれました。白い尾羽も鮮やかです!何回も頭上をゆっくりと旋回しながら西の空へと消えました。観察会の詳しい様子は、『岩手県滝沢森林公園』のホームページ・定例森の観察会をご覧ください。来年は3月17日の予定です。参加をお待ちしております。

